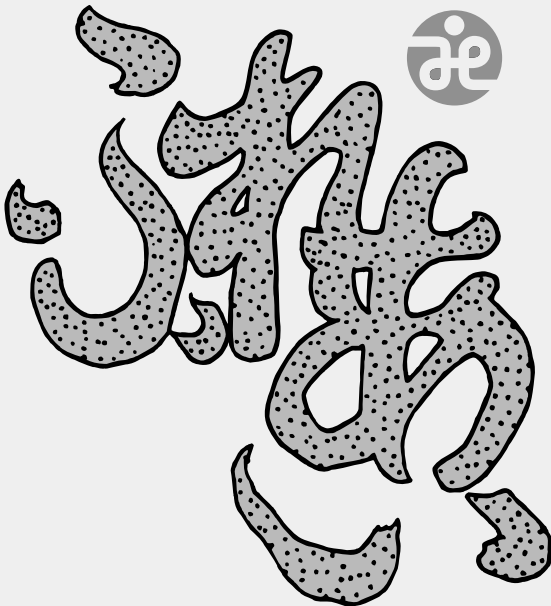


平成18年3月24日発行



社会福祉法人 騎西町社会福祉協議会
騎西町大字根古屋633-2(老人福祉センター内)
TEL 0480(73)2341 FAX 0480(73)3516
介護サービスセンター
TEL・FAX 0480(73)6621(居宅介護支援事業所)
TEL 0480(70)2816(訪問介護事業所)

Eメール kisai-1@mb.jnc.ne.jp
ホームページ <http://www.cnet-sb.ne.jp/kisai-1/>

社会福祉協議会は、通称「社協」と呼ばれており、地域の人々が暮らしやすい「福祉のまちづくり」を目指して福祉活動を展開しています。

今年の福祉教育研修会では、渡辺さんとパートナーのうららちゃんに来てもらいました。(福祉教育研修会より)

主な内容

- 社会福祉大会の報告.....2
- 募金活動の結果について.....3
- 共学支援プログラム事業
福祉教育研修会.....4
- 社会福祉協力実践報告.....6
- 支部社協の部屋.....7

(1) 社協だより「ふれあい」は、共同募金の配分を受けて発行されています。

平成17年度町社会福祉大会

社会福祉に貢献の 個人・団体を表彰

本大会は長年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表すると共に、社会福祉関係者及び町民が、現在の社会福祉事業の直面する問題について考えることを目的に開催するものです。



福祉作文発表者

平成17年度騎西町社会福祉大会顕彰者のみなさま

(敬称略・順不同)

福祉功労者

(1) 行政区長	
金子 和 二 (内田ヶ谷西部)	齋 藤 肇 (上崎第2区)
(2) 社会福祉団体	
苧 原 栄 三 (騎西町RC連合会)	吉 澤 清 子 (騎西町手をつなぐ親の会)
加 藤 敏 子 (騎西町遺族連合会)	
(3) 模範自立更生世帯(者)	
柳 沢 キヨ子	
(4) 模範介護者	
青 木 久美子	坂 本 照 子
高 嶋 晃 子	本 間 清
山 口 トシ子	
(5) ボランティア活動推進者	
江森カツエ (騎西町日赤奉仕団)	河邊 きよ (騎西町ボランティアひかり)
岡田 和江 (むつみ給食ボランティア)	斉藤 節子 (朗読サークルありの実)
松村 順子 (騎西町手話サークルふじの会)	

社会福祉協議会活動協助者

(1) 会費多額納付者	
篠 原 眞 男	黒 川 相 次
(医)堀内医院	(株)埼玉りそな銀行騎西支店
サンコートラベル(株)	(株)太 陽
(有)橋本設備工業所	(有)竹内農機
(2) 活動協助者	
伊 藤 君 子	千津井 さ わ
岡 安 愿 三	

社会福祉協力校児童・生徒による作文発表者

騎西小学校 6年	村田有里紗	「私のおじいちゃん」
田ヶ谷小学校 6年	坂本 真奈	「お年寄りの方達とふれあって」
種足小学校 6年	栗原由理江	「共に生きていこう」
鴻巣小学校 6年	武藤 亮太	「虹の園に行って学んだこと」
高柳小学校 5年	吉田 晃子	「わたしの盲導犬体験」
騎西中学校 3年	斉藤 守正	「養護学校のボランティアに参加して」
騎西高等学校 2年	瀬理明日香	「笑顔があるから」

去る平成17年11月20日(日)騎西町文化会館ホールにおいて、騎西町社会福祉大会を開催いたしました。「誰もが安心して生きがいのある地域生活を送れる事」を目指して、社会福祉関係者間の連携の下、豊かな社会の実現に向けて取り組むといった大会宣言を決議し、第1部では社会福祉事業に貢献のあった個人の方21名と企業6社を表彰しました。

また第2部では、福祉協力校と

して様々な福祉活動を行っている町内の小・中・高校の児童や生徒7名から、それぞれの活動を通して感じたものを作文にして発表してもらいました。発表に耳を傾けていた参加者からの拍手がおこり、会場が感動に包まれながら閉会となりました。

社協では、今後も福祉活動に関わる活動をされる方々に対して、様々な援助を行いながらより良い社会の実現を目指していきます。

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 寄付する人も集める人もボランティア

**運動
期間**

10月1日～12月31日

**募金
総額**

赤い羽根共同募金 3,043,768円

歳末たすけあい募金 1,883,687円

赤い羽根をシンボルとした赤い羽根共同募金は10月1日から全国一斉に繰り広げられ町内の皆様からあたたかい募金が寄せられました。

「赤い羽根募金」は社協や県内の特別養護老人ホームなどの民間社会福祉施設の事業費に、そして「歳末たすけあい募金」は、社協において町内のひとり暮らし・ねたきり高齢者などの歳末見舞・援護事業費として使われています。

ご協力ありがとうございました。

赤い羽根共同募金 3,043,768円		歳末たすけあい事業費 1,863,901円	
戸別募金	2,652,550円	町内各世帯より	
街頭募金	30,779円	協力：民生委員及び騎西中学校	
職域募金	89,265円	JAほくさい・(株)埼玉りそな銀行騎西支店・加須地区消防組合騎西分署・埼玉県環境科学国際センター・騎西町郵便局・騎西町役場・騎西町社会福祉協議会窓口募金箱	
学校募金	71,174円	町内各幼稚園・小・中学校及び騎西高校より	
法人募金	200,000円	(有)若山運送加須クリーン・(有)フクシ・(有)橋本設備工業・(株)ジャパンビバレッジ北埼玉営業所・(株)杉田商店・(株)騎西運輸倉庫・(有)杉田産業・(有)濱島建設・(有)内田建設・榎本工業(株)・サクダナ・(有)福田水道工業・(有)蓮沼塗装工業所・(株)太陽・村田電気工業(株)・(有)富士会館・辰奴観光社・(株)釜屋・(有)関口美化工業・板谷製作所・(有)中島建設・松井建設(株)・(株)リバーグリーン・(有)昭和建設工業・(株)サトー第一騎西工場・(有)乗附美建・騎西町商工会	
		歳末見舞金	1,383,000円
		見舞品	100,944円
		児童・生徒支援事業	166,000円
		会食・配食サービス	108,957円
		歳末児童映画会	105,000円



学校ボランティア養成講座

共学支援事業

「すべての子どもが共に地域で学ぶための支援プログラム事業」

平成17年度から、県社協の委託を受け「共学支援事業」を実施しました。この事業は、

盲・ろう・養護学校に在籍する児童生徒や、小中学校の特殊学級に在籍する児童生徒、また通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒（学習障害・注意欠陥多動性障害・

高機能自閉症など）が、教育的ニーズに応じて小中学校や養護学校に行つて学習できる



ように支援する事業です。

今年度は、「障害」について学習し、養護学校の子ども達とふれあう機会を作り、子どもたちと心の交流を図ることを目的として4日間に行われ開催しました。

参加者から

勉強になり良い企画でした。学校の先生達の熱心さに恐縮します。地元の学校の生徒や先生達も体験されたら、益々暖かいクラス作りにも役立つ勉強になるのではないのでしょうか。又、差別のない心通じる機会になったり、きっかけになればと思います。

生徒さん達の絵や作品の素晴らしさ、一生懸命さ、一杯に表現している姿を見て、私なりに勉強させられました。微力ですが出来る限りお役に立てればと思います。

とても楽しかったです。ま



た機会があればぜひ参加したいと思います。将来的に障がいのある子ども達に関わった仕事が出来ればなあと思っています。



先生もお母さんも

福祉について考えました

福祉教育研修会

平成12年度から始めた「福祉教育研修会」も6回目になりました。今回は、群馬県前橋市から渡辺さんが盲導犬うららと一緒に来てくださいました。



渡辺宏さんのプロフィール

元交通機動隊（白バイ隊）。走り高跳びではパラリンピックで優勝3回の他、世界大会でも入賞。スキー競技でも2回の優勝。現在、基礎学習塾とマッサージ・はり・きゅうを経営。

渡辺さんには、「福祉について一緒に考えましょう」というテーマでお話しをお願いしました。視覚障害をもつようになつて感じたことは「福祉とは相手の時間の流れを感じること」だそうです。「これは、子育てにも共通するこ



とで、早くしなさい！と、ついでに子どもをせかしてしまいませんか？子どものペースを考えていますか？大人の時間に合わせすぎていませんか？」という言葉にドキッとした方も多かったようです。

障害があるから何も出来ない……とあきらめない、渡辺さんは様々なことに挑戦したそうです。「高飛びは1位になった選手でも、最後は失敗して終わるんです。何事も失敗をおそれないでやってみることが大切なことです」と力強いお話しをされ、まだまだ自分たちも頑張れるかもしれ

ない……そんな勇気をいただきました。

参加者から

渡辺先生の話聞いて、自分の指導の仕方を見直すことができました。先生の前向きな素晴らしい生き方、感動しました。自分も渡辺先生のような生き方をしたいと思いました。また、福祉について考

中に響いてきました。私たち教育に携わる人間も一歩ずつハードルを上げられるように課題を見つけて一緒に乗り越えていきたいと思いました。また、我々にとつて障害、急ぎすぎるのが障害、遠回りも回り道もいじゃないか……本当にそうです。最後に相手の立場になって物事を考えて、言葉をだして行動する。そうありたい！と思いました。今日は、渡辺先生のお話を聞いてとても勉強になりました。毎日時間に追われ私も子供も「早く早く」と言っております。又、出来ないとしてしまいは怒鳴っています。先生がおっしゃったとおり良い結果には繋がりません。これからは、少し気持ちに余裕を持つて見守る時間をとるよう

忙しい日々の中では忘れてしまつても大切な思いを、このような時間に取り戻せる、すごくいい機会だと参加する度に感じます。なかなか足を運ぶのは大変ではありますが、時間が合えばまた参加したいと思っています。今日の講師の方については、すごく強い人だなあと感じます。自分の子供も、こんなに強く生きてくれたら幸せだなあと感じます。

とても短く感じた講演でしたが、目には障害があつても、とてもイキイキ話してくださいました。目に見るのも初めてでしたが、とてもお利口で感激でした。私たちが何も変わりなく、もしかしたらもっと素敵にいきいきと毎日を過ごしているのかもしれないと感じることが



埼玉県立騎西高等学校



一 はじめに

本校は、日本国憲法、教育基本法の精神に則り、郷土の風土と文化を基盤として、体育、徳育、知育の調和のとれた教育を行い、自主的精神に充ちた心身ともに健全で心豊かな人間を育成することを目標に、日々の教育を展開している。

特に、福祉・ボランティア

教育は、奉仕活動を体験することでボランティア精神を育成するとともに、豊かな心、他人を思いやる心、勤労の尊さ、社会に奉仕する精神を育むために重要な活動である。

二 推進形態

- ・総合的な学習の時間に福祉ボランティアに関する基礎知識の学習及び体験活動
- ・生徒会・ボランティア推進員及び有志による自主的活動
- ・その他

三 主な活動

- ・総合的な学習の時間
福祉教育
- ・社会奉仕体験
- ・花いっぱい運動の実施
- ・ボランティア体験プログラム及びボランティアの情報提供

- ・使用済みテレフォンカード、書き損じ葉書の回収
- ・緑の羽根共同募金、赤い羽根共同募金、その他災害義捐金等の実施

四 花いっぱい運動

- ・ねらい
生徒が年間を通じて主体的に学校内外で、花を植え、管理することでボランティア精神を涵養するとともに豊かな人間性を育む。さらに、高校生として環境美化に取り組むことで地域社会に貢献し、地域との交流を深める。



・概要

生徒会、ボランティア推進員及び有志の生徒が、地元の園芸関係者の指導を受けながら、季節に応じた花を校内、通学路に植え管理する。

また、騎西町の公共施設（役場、生涯学習センター、文化会館）に花を植えたプランターを設置し、騎西町の美化に貢献する。



・成果

生徒会メンバーとボランティア生徒が協力し合って活動し、作業の楽しさや奉仕活動の喜びを体感した。また、参

加した生徒は、活動を開始するに当たり、たくさんの方の協力を頂いていることを理解した。

・課題

今後、さらに多くの生徒が参加する活動に発展させたい。

五 おわりに

本校は、生徒の実態に応じた「福祉・ボランティア教育」をあらゆる機会を捉えて推進する中で、社会の一員として、主体的に行動できる生徒を育成している。

今後とも、体験活動を通じて豊かな心や福祉の心を育成するとともに、勤労の尊さや社会に奉仕する精神の育成に努める。



●支部社協の部屋●

今月は田ヶ谷支部を紹介します。

目指せ！小粒でもキラリと光る地域社協を

田ヶ谷支部の活動

田ヶ谷支部の事業として最も力を入れているものが二つあります。

一つ目の敬老会事業は、他にさきがけて実施している田ヶ谷支部のイベントと自負しています。毎年76歳以上の方を対象に、田ヶ谷総合センターを会場に行っております。

実施にあたっては、まず理事会を開催し期日、日程、内容等基本的な事項を検討し、後日全体役員会を開催し、理事会において検討した事項について報告し併せて対象者への案内状の配布及び当日の役割等を取り決めます。

ちなみに平成17年度については、9月19日(月)敬老の日午前10時開会、対象者285名、中出席者131名、来賓には石川三郎騎西町社協会長ほか6名、挨拶に続き当日最高齢者に花束贈呈を行いました。

その後は昼食を取りながら、4団体による演芸の披露が行われ、盛んな拍手や声援があり終始和やかな雰囲気の中閉会とまりました。

二つ目のおひな祭り昼食会は、実施にいたるプロセスは敬老会と同様ですが、対象者は80歳以上となっております。前日午後から会場設営を行い当日は各地区ごとに受付し、女性役員が会場を案内します。主催者及び来賓の挨拶など

のあと、幼稚園児たちの演技を観賞します。本年度については、それに追加して雰囲気盛り上げようと、カラオケの用意をしております。まず役員が美声？を披露してから出席者に参加してもらおう予定

です。初めての試みでどれだけ盛り上がるか、支部役員の手腕に期待がかかります。

ここで二つの事業を通じて考えられることは、どちらも対象者に対して出席者が40%台しかないということです。

高齢者ということで、寝たきりや身体が不自由で外に出られない方や、1人では会場にこられない方等様々な理由があるとされます。これらの在宅高齢者の方に、どのように対応していくべきなのかが、これからの課題となると思います。

今後益々進む少子高齢化社会にあつては、行政の届かない裏面を、地域の連携と協力によりお互いの絆を一層強く

して、地域の福祉向上に資することがこれからの課題であり、社協本来の姿ではないかと思えます。今後も田ヶ谷支部としては、住民のニーズに応えられるよう、役員と一緒に更なる努力を重ねて行きたいと考えています。



敬老の日



介護サービスセンターからのお知らせ

平成18年4月から、介護保険制度の改正により、新しく介護予防事業が追加されます。私たち騎西町社協の介護サービスセンターでも、介護予防訪問介護事業を開始する予定です。

この介護予防訪問介護の対象者は、新たに設けられる認定区分の要支援1・2に該当する方です。サービスの内容は、利用者の方が主体的に行う調理や洗濯等に対する支援を、ホームヘルパーが居宅で行うといったものです。

新しい事業ですが、利用者の方により良いサービスを提供できるように頑張っています。



あんしんサポートねっとをご利用下さい

あんしんサポートねっと（福祉サービス利用援助事業）では次のようなお手伝いをします。

福祉サービス利用の手続きについてお手伝い（援助）をします。

日常生活に必要な事務手続きのお手伝い（援助）をします。

日常生活に必要な金銭に関するお手伝い（援助）をします。

ご自分で保管することが不安な場合に、大切な書類をお預かりします。

ご利用出来る方

高齢者や知的障害・精神障害がある方で、ひとりで生活していくには不安がある方。

利用料金

1回1時間まで1,200円（延長30分ごとに400円加算）

金銭管理に使用する通帳をお預かりする場合は1回1時間までが1,600円

書類等預かりサービスは、年間8,000円

詳しくは社会福祉協議会までお問い合わせください。



編集
後記

この広報誌「ふれあい」は、騎西町社協が法人化された昭和60年の第1号から数えて、今回で第40号となります。この約21年の間に社会が変化する中で、社協の活動も変化してきました。この4月にも介護保険制度の改正や障害者自立支援法の施行など新しい制度が始まりますが、これからもより良い社協を目指して活動していきたいと思ひます。